

<参考1> 良質な医療サービスの提供(矢吹病院に係る臨床指標分析)

○全国自治体病院協議会「医療の質の評価・公表等推進事業」より作成
○本事業は平成26年3月開始,全国892の自治体病院のうち174病院が参加(H28年12月現在)

○ 精神病院

No	指標名	矢吹病院		全国自治体病院(H28)中央値	説明	計算式
		H28	H27			
1	患者満足度	68.0%	63.6%	85.2%	診療等に対する満足度	[分子] 満足のいく治療を受けたと回答した入院患者数 [分母] 患者満足度の有効回答数
2	紹介率	28.6%	35.5%	56.7%	他の医療機関から紹介されて来院した患者さんの割合	[分子] 紹介患者数+救急患者数 [分母] 初診患者数
3	逆紹介率	27.5%	24.6%	53.9%	当院から他の医療機関に紹介した患者さんの割合	[分子] 逆紹介患者数 [分母] 初診患者数
4	新入院頻度	126.8人	107.4人	81.8人	病床の回転率,短期・長期入院の傾向が分かる。重症かつ慢性の精神疾患に重点を置く病院は指標値が低くなる場合がある	[分子] 新入院患者数 [分母] 病床100床当たり
5	緊急措置入院頻度	0.0人	0.0人	0.0人	入院しなければ自傷他害の恐れがある場合の知事の権限による入院。行政との連携を図りながら社会貢献している点を指標としたもの	[分子] 緊急措置入院患者数 [分母] 病床100床当たり
6	措置入院頻度	6.0人	2.7人	1.0人		[分子] 措置入院患者数 [分母] 病床100床当たり
7	退院患者頻度	130.2人	120.8人	87.8人	病床の回転率,短期・長期入院の傾向が分かる。重症かつ慢性の精神疾患に重点を置く病院は指標値が低くなる場合がある	[分子] 精神科退院患者数 [分母] 病床100床当たり
8	在院3か月以内の退院率	72.2%	63.8%	80.9%	一定の期間での退院・社会復帰を目指すことを指標としたもの	[分子] 自院退院後3ヶ月以内に退院した患者数 [分母] 退院患者数
9	退院後3か月以内の再入院率	4.2%	2.0%	13.3%	病状の安定化を図り,再入院を避けることを指標としたもの	[分子] 自院退院後3ヶ月以内の再入院患者数 [分母] 新入院患者数
10	在宅復帰率	84.5%	85.1%	83.3%	退院患者さんのうち,自宅などへの退院の割合	[分子] 退院先が自宅等の患者数 [分母] 退院患者数
11	救急車来院頻度	10.7人	9.4%	3.5人	救急車の受入頻度	[分子] 救急車来院患者数 [分母] 病床100床当たり
12	警察関係車両来院頻度	6.0人	7.4人	0.0人	パトカー等で来院した患者さんの受入頻度	[分子] 警察関係車両来院患者数 [分母] 病床100床当たり
13	転倒・転落レベル2以上発生率	0.00809件	0.000076件	0.00049件	入院患者さんが転倒・転落し,検査や処置が必要になった発生頻度	[分子] インテクト・アクトの入院患者転倒・転落数【レベル2以上】 [分母] 入院延べ日数
14	褥瘡推定発生率	1.9%	2.4%	0.0%	低栄養の患者さんが寝込んでいたりするとできる床ずれの発生率	[分子] 入院時に褥瘡なく調査日に褥瘡を保有する患者数+入院時に褥瘡あり他部位に新規褥瘡発生の患者数 [分母] 調査日の施設在院数(人)
15	クリティカルパス使用率【患者数】	12.2%	14.6%	4.3%	クリニカルパスとは,ある疾患に対して入院から退院までに行われる検査や治療を経過日ごとに記載した診療計画書。クリニカルパスの使用状況	[分子] パス新規適用患者数 [分母] 新入院患者数

矢吹病院内の様子

<訪問看護>



退院後も、訪問看護により継続的なケアを行います。

<アウトリーチ>



医師、心理士、看護師、作業療法士などの多職種チームにより、未治療者や治療中断者を訪問し必要なサービスにつなげる支援を行っています。

<児童思春期外来>



ADHD(多動性障害)や発達障害、暴力、ひきこもり、不登校等の子どものこころの診療を行っています。